

# 第4期栃木県食育推進計画「とちぎ食育元気プラン2025」令和5(2023)年度の実績等について(概要)

令和6(2024)年7月10日  
保健福祉部健康増進課、農政部農政課、教育委員会事務局健康体育課

## 1 令和5(2023)年度の実績

### 基本目標1 食を通して豊かな心、人間性を育みます

指標	基準値	実績値	目標値
農業体験を複数回したことがある県民の割合	67.9% 令和2(2020)年度	65.8% 令和5(2023)年度	90% 令和7(2025)年度
学校給食における地場産物活用割合を基準値より向上した市町の割合	令和3年度調査の各市町の数値を基準値とする	60.0% 令和5(2023)年度	100% 令和7(2025)年度

※令和3(2021)年度の基準値を基に令和4(2022)年度以降の実績値を算出

### 【目標値達成に向けた主な取組】

- グリーン・ツーリズム実践者の活動のための研修会の開催や「見る、食べる、体験する」情報の発信(研修会3回、専用WEB「とちぎの農村めぐり」による情報発信)
- 各種SNS等を通じた食と農の魅力発信(「いちご王国」アンバサダーによる情報発信 2,358回)
- 学校給食における県産農産物の活用拡大に向けた支援

など

### 基本目標2 食を通して県民一人ひとりの健康を目指します

指標	基準値	実績値	目標値
ヘルシーメニューの提供に取り組む飲食店の登録数	362店舗 令和元(2019)年度	364店舗 令和5(2023)年度	550店舗以上 令和4(2022)年度
主食・主菜・副菜を組み合わせた食事が1日2回以上の日がほぼ毎日の者の割合	49.5% 平成28(2016)年度	53.0% 令和4(2022)年度	80%以上 令和4(2022)年度
・朝食を「あまり食べていない」「全く食べていない」児童生徒の割合 (小6中3) ・朝食を「全く食べない」生徒の割合 (高3)	小3.7% 中5.4% 高5.3% 令和元(2019)年度	小5.4% 中7.4% 高7.2% 令和5(2023)年度	0%を目指す 令和7(2025)年度

### 【目標値達成に向けた主な取組】

- 外食栄養成分表示に関する県民や飲食店等への周知(講習会等による食品事業者等への啓発19回、適切な食習慣の普及に関するリーフレットの作成、情報発信)
- 「食べて健康!プロジェクト」やボランティア団体と連携した地域の食育推進を実施(プロジェクト参加企業452団体、食生活改善推進員と連携した食育活動料理教室66回、講習会146回)
- 食への理解や正しい食生活等の指導に向けた学校への専門家の派遣(小・中、県立学校等へ管理栄養士等の専門家派遣 9校)

など

### 基本目標3 食の安全性への信頼確保や県民と協働した食育活動を推進します

指標	基準値	実績値	目標値
食の安全に関する情報発信(年間回数)	—	延べ234回 令和3(2021)年度～令和5(2023)年度(令和5年度:60回)	延べ250回以上 令和3(2021)年度～令和7(2025)年度
とちぎ食育応援団活動数	64回 令和元(2019)年度	延べ158回 令和3(2021)年度～令和5(2023)年度(令和5年度:73回)	延べ300回以上 令和3(2021)年度～令和7(2025)年度
食育推進計画を策定している市町の割合	96% 令和2(2020)年度	88% 令和5(2023)年度	100% 令和7(2025)年度

### 【目標値達成に向けた主な取組】

- 食の安全に関する情報発信や学習機会の向上(SNS「とちまる食の安全通信」60回、小中高生等対象の学習機会35回)
- とちぎ食育推進月間やとちぎ食育応援団出前講座を通じた食育の普及啓発(食育応援団員454人、出前講座開催回数73回、参加者数 延べ1,870人)
- 食育推進計画策定に向けた市町からの問い合わせ等への対応、策定支援

など

## 2 令和6(2024)年度の主な取組

### 基本目標1 食を通して豊かな心、人間性を育みます

#### (1) 食を楽しむ機会の確保

- ・大学生や新社会人等の若い世代を対象とした食育出前講座の実施による県産農産物を活用した食育の推進
- ・「家庭の日」絵日記コンテスト等による「家庭の日」の定着に向けた啓発や、「家族で食育の日」における共食等の環境づくり推進
- ・働きやすい環境整備に取り組む企業を「男女生き生き企業」として認定し、ワークライフバランスの充実や家庭での食事の機会の増加を推進

#### (2) 食に感謝する心の醸成

- ・グリーン・ツーリズム等の食と農に触れ合う機会を通じた県産農産物やそれに関わる人々の活動への理解促進
- ・「とちぎ食べきり15(いちご)運動」の重点期間(12月～1月)に広告等による普及啓発を実施し、食べ残しの削減を一層強化

#### (3) 地域の食材や食文化への理解促進

- ・県内企業の社員食堂などへの県産農産物の安定調達に向けた実態調査や導入実証を行うことにより、地産地消拡大の取組を支援
- ・学校給食における地元農産物の導入支援や郷土料理メニュー等に関する情報発信により、優れた食文化や地域の特産物への理解を促進
- ・消費者、生産者、流通業者を対象とした県産農産物に対する意識調査

### 基本目標2 食を通して県民一人ひとりの健康を目指します

#### (1) 正しい食生活に向けた環境整備

- ・飲食店や食品関連企業等と連携した栄養成分表示の活用促進やとちぎのヘルシーグルメ推進店の登録拡大
- ・栄養や食品表示に関する正しい理解の促進に関わる地域の人材育成・支援

#### (2) 栄養バランスのとれた食生活の推進

- ・食生活改善推進員や「食べて健康！プロジェクト」参加団体企業等と連携したバランスの良い食事や生活習慣病予防に係る普及啓発
- ・子どもから高齢者まで、ライフステージに応じた適切な食生活(減塩、野菜摂取量の増加等)やフレイル予防の認知度向上に向けた普及啓発

#### (3) 規則正しい食生活の推進

- ・学校や保育所、幼稚園等と連携した「早寝・早起き・朝ごはん」の推進
- ・親子の食育教室や講話、家庭訪問等、食生活改善推進員との連携による規則正しい食事の啓発活動の実施

### 基本目標3 食の安全性への信頼確保や県民と協働した食育活動を推進します

#### (1) 食の安全性に関する信頼の確保

- ・食品等事業者に対する監視指導の充実や自主衛生管理の促進に向けた講習会、研修会の開催
- ・地域、学校等での食品の安全性に関する知識習得への支援を通じ、消費者の食に対する信頼性を確保

#### (2) 食育に関わる人材の確保と活動促進

- ・保育士や食生活改善推進員、栄養教諭・学校栄養職員の資質向上に向けた研修会、キャリアアップの講座の開催
- ・とちぎ食育応援団の派遣により、保育園や企業を対象とした食と農への理解促進に向けた講座の開催

#### (3) 食に関わる関係者の連携強化

- ・とちぎ食育月間やとちぎ食育連絡会を通じた市町や関係団体との連携による食育推進運動の展開